

こんなときは

- 電源ランプが緑色と赤色に交互に点滅する場合は、内蔵した乾電池が消耗しているか、乾電池が内蔵されていない場合です。乾電池が消耗していると、停電時や災害時に屋外へ持ち出しても放送が受信できません。乾電池が消耗してくると電源ランプが赤色に点滅し始めます。また、長期間消耗した乾電池を入れたままにしておく、乾電池が腐食し、乾電池の中から液が漏れて受信機の故障の原因になります。以上の様な症状の場合や故障を防ぐために、1年に1回は乾電池の交換をお願いいたします。
- 放送中でないのに長期間受信ランプが点滅している場合や放送中の音声が雑音等で聞き取りにくい場合は電気機器等の雑音に影響している場合がありますので、受信機の設置場所やコンセントの場所を変えてみてください。
- 受信機の調子が悪い場合は総務課までご連絡下さい。

TRR-6EA型戸別受信機 取扱の手引き

製品の取扱を誤りますと、感電、火災、火傷の原因になる恐れがあります。また、故障や性能、寿命の低下の原因になりますので、ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

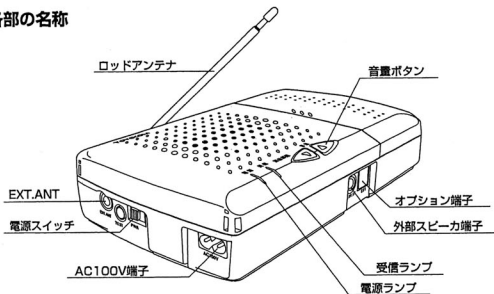
注意

- ・本体の分解や改造をしないで下さい。
- ・製品に強い力が加わるような使い方はしないで下さい。
- ・直射日光にあたるとうちや、温度の高いところに放置しないで下さい。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。
- ・防水構造ではありません。水をかけたり、水の中に入ると故障の原因になります。
- ・人や家具等にあたり、けがやキズをつけたり、ロッドアンテナが折れることがありますので、ロッドアンテナを伸ばしたまま本機を移動させないで下さい。
- ・内蔵できる電池は単2型、単3型の2種類ありますが、必ずどちらか一方の乾電池を使用して下さい。故障の原因になります。
- ・液漏れや消耗による劣化を防ぐために、定期的(1年に1回)に乾電池を交換して下さい。故障や受信ができなくなる原因になります。

はじめに

この受信機は市役所や役場からの広報及び緊急放送を聴く為のものです。したがって常に電源スイッチを入れた状態にしておいて下さい。また、停電時や屋外に持ち出しても市役所や役場からの情報を受信できるように乾電池を内蔵できます。

各部の名称



使用方法

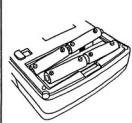
- (1) 付属の電源コードを本体側面のAC100V端子に差し込み、反対側のプラグを最寄りのコンセントに差し込んで下さい。
- (2) 本体のロッドアンテナを一杯に伸ばして下さい。屋外アンテナを使用する場合はロッドアンテナを伸ばさずに、外部アンテナプラグを本体側面のEXT. ANTに差し込んで下さい。
- (3) 本体側面のPWR(電源スイッチ)スイッチをONの位置に合わせて下さい。正面の電源ランプが緑色に点灯します。緑色で点滅している場合は乾電池で動作していますので、電源コードが本体と最寄りのコンセントに差し込まれているか確認をして下さい。屋内で使用の場合は、電源ランプが緑色に点灯している状態で使用して下さい。使用できる乾電池は単2型、単3型の2種類あり、同時には内蔵できないようになっています。(付図2)

■単2乾電池の入れ方

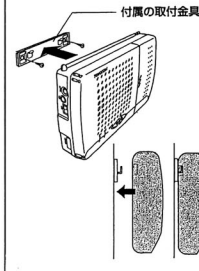


(付図2)

■単3乾電池の入れ方

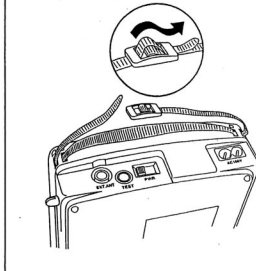


■柱や壁への取り付け方法



(付図3)

■ハンドストラップの取り付け方法



(付図4)

- (4) 音量の調整は、音量ボタンの△(音量を大きくする)か、▽(音量を小さくする)を押すことで行えます。△又は▽を押すことに「ピッ」と音がしますのでこの音を目安に音量の調整をして下さい。△又は▽を押して、「ブツ」という音がしたらそれ以上の音量にはなりません。
- (5) 正面の受信ランプが緑色に点灯した場合には、市役所や役場からの放送を聴くことができます。受信ランプが緑色で点滅している場合は、他の地区への放送が行われているときです。
- (6) 市役所や役場からの緊急放送を受信した場合は、音量の調整に関係なく最大音量となります。緊急放送中に通常の音量に戻したい場合は、音量ボタンの▽を1回押しと通常音量になります。
- (7) 受信機を柱や壁に取り付ける場合には、付属の金具を使用し固定します。(付図3)
- (8) ハンドストラップを使用する場合は、付図4を参照して取り付けて下さい。(付図4)